

基本政策VI 家庭・地域の教育力を高める

政策 目標

各家庭における教育の支援や、大人も子どもも学び合い、育ち合うための環境づくりを通じて、家庭・地域の教育力の向上を図ります。

主な課題

- ①核家族化の進行や、働き方の多様化、地域のつながりの変化等により、子育てに悩みや不安を抱える家庭もあることを踏まえ、地域社会全体で子育て家庭を支えながら、**家庭教育の推進を図る仕組みづくり**が求められています。
- ②学校・家庭・地域の連携の取組を推進し、地域の教育力の向上を図る自主的な活動組織として、7行政区・51中学校区に地域教育会議が設置されており、より幅広い構成員によるネットワーク化を進めながら、**地域教育会議の更なる活性化に向けた取組を充実させていくことで、地域の教育力を向上**させていくことが求められています。また、平成26年度から取組を進めている「地域の寺子屋事業」は、シニア世代をはじめとする地域人材の知識と経験を活かして、地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代がつながり、学び合う生涯学習の場として定着してきており、今後、さらに取組を広げ継続していくために、地域人材や団体を育成していく必要があります。

主な取組成果

- ①子育て期の市民を地域全体で支え合う家庭教育環境を構築するため、市民館での家庭・地域教育学級等の実施や、PTAによる家庭教育学級への支援を行うことで家庭教育に関する学習機会を提供したほか、「家庭教育推進連絡会」を開催し、家庭教育に関する好事例を横展開し、情報共有をしました。また、企業や地域団体等と連携した家庭教育支援講座では、チラシを作成したほか、市ホームページでも広報を行いました。
- ②地域教育ネットワークの構築に向け、有識者を招いた推進会議の開催や、各中学校区におけるネットワークの活性化を担うコーディネーターの委嘱（令和4年度末時点：24中学校区→令和5年度末：30中学校区）を進めるなど、地域の教育力を高めるための取組を推進したほか、子ども会議については、初の試みとなる子どもたちと大人が話し合う機会を設けるなど、意見表明の機会及び子どもの声を行政をはじめとする社会全体で受け止めるための取組を拡充しました。また、**「地域の寺子屋」の設置の拡充を進め、令和4年度の89か所から令和5年度は95か所まで着実に増加**しました。さらに、寺子屋先生養成講座、寺子屋情報交換会、寺子屋先生スキルアップ研修を開催したほか、**地域の寺子屋推進フォーラムを高津市民館で開催**し、これまでの10年を振り返りながら、**次の10年に向けた寺子屋事業の更なる発展へとつなげました。**

教育改革推進会議における意見内容

- ②教育について自分事として捉えて関わりができる人は、差があるので、働いている保護者も少しずつ自覚的に関わることができるだろうし、若い人たちは若い人たちに学びに関わってほしい。そういう学びと教育について全社会で構図をつくる、改革をしていくという時代に今入っているのではないかな。
- ②**中原区子ども会議**は、新しい人がなかなか入ってこない、人が循環しないということがあり運営は厳しいと思うが、**参加した子どもがすごく輝いていたので、そういった子どもが増えると市も変わっていくと思う。このすばらしい取組の活用をもっと考えてほしい。**
- ②「開かれた学校」からさらに一步踏み出し、**地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのか**という**目標やビジョンを地域住民等と共有することで、魅力的な取組がうまれる**のではないかな。

今後の取組の方向性

- ①**市民館**等における家庭教育に関する学習機会の提供について、来館しなくても受講できる利便性の高いオンラインによる事業と、直接悩みを共有し、つながりづくり等を推進することができる対面での事業のバランスを考慮し実施します。P T Aによる家庭教育学級開催の支援については、P T A活動の事情に応じた支援が行えるよう、各校のP T Aに個別の働きかけを行うなど、丁寧な支援に取り組んでいきます。また、家庭教育推進連絡会の開催については、家庭教育に関する好事例を横展開しながら引き続き取り組んでいきます。
- ②**地域教育ネットワークの構築**については、ネットワーク推進会議や講座を開催するとともに、地域教育コーディネーターの委嘱を進め、学校運営協議会の委員として地域学校協働活動につなげていくなどの改善を行いながら、取組を推進します。**川崎市子ども会議**については、令和4年度に企画した仕組みをもとに、大人と子どもがパートナーとして相互理解を深めながら検討を進めていきます。

参考指標

指標名	指標の説明	実績値	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7年度)
家庭教育関連事業の参加者数	教育文化会館・市民館・分館で実施する家庭・地域教育学級、PTA等の企画する家庭教育学級、その他家庭教育事業の参加者数 【出典：教育文化会館・市民館活動報告書】	5,920人 (R2(2020)年度)	11,227人	13,509人	－	－	23,500人 以上
家庭教育関連事業を通じて悩みや不安が解消・軽減した割合	教育文化会館・市民館・分館で実施する家庭・地域教育学級、PTA等の企画する家庭教育学級、その他家庭教育関連事業で悩みや不安が解消・軽減した人の割合 【出典：家庭教育事業参加者アンケート】	83.8% (R2(2020)年度)	96.6%	96.5%	－	－	93.0% 以上
PTA・企業等多様な主体と連携して実施した家庭教育関連事業数	PTA・企業・子育て関連部署等と連携して実施した家庭教育関連事業の開催数 【出典：川崎市教育委員会調べ】	71回 (R2(2020)年度)	131回	130回	－	－	175回
地域教育会議における参加者の意識の変化	地域教育会議が開催する「教育を語るつどい」等の事業において、「子どもや地域のことを考えるきっかけとなった」と答えた参加者の割合 【出典：川崎市教育委員会調べ】	97.6% (R2(2020)年度)	95.8%	95.3%	－	－	93.0% 以上
地域の寺子屋事業を通じて生まれた地域と子どもとのつながり	地域の寺子屋事業に参加した児童を対象とした意識アンケートにおいて、親や教員以外の地域の大人と話すことができた割合 【出典：地域の寺子屋事業参加者アンケート】	94.5% (R2(2020)年度)	97.1%	93.7%	－	－	95.0% 以上